



# 2013年3月期 決算説明会

---

決算総括および中期経営計画

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 家次 恒

2013年5月9日

## 本日の内容

---

Chapter 1	2013年3月期 決算総括
Chapter 2	前中期経営計画の振り返り(2011年5月公表)
Chapter 3	中期経営計画(2014年3月期～2016年3月期)
Chapter 4	2014年3月期 業績予想
補足資料	中期経営目標

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## Chapter 1

---

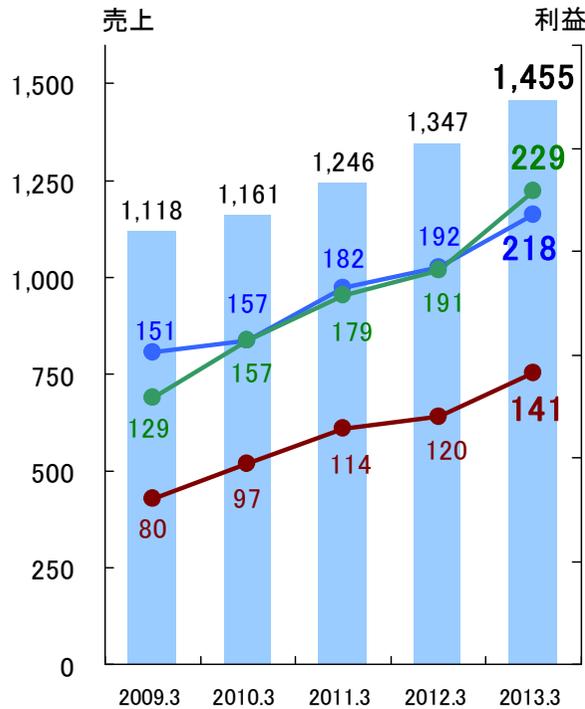
# 2013年3月期 決算総括

# 決算総括

売上高:13期連続増収、営業利益:12期連続増益  
 — 売上高、全ての利益において過去最高を達成 —



(単位:億円)



(単位:億円)

	2013年3月期		2013年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	公表*	構成比	実績	構成比	
売上高	1,455.7	100%	1,400	100%	1,347.4	100%	108.0%
売上原価	565.8	38.9%	—	—	516.5	38.3%	109.5%
販売費及び一般管理費	671.9	46.2%	—	—	638.8	47.4%	105.2%
営業利益	218.0	15.0%	200	14.3%	192.0	14.3%	113.5%
経常利益	229.7	15.8%	195	13.9%	191.3	14.2%	120.1%
当期純利益	141.6	9.7%	121	8.6%	120.0	8.9%	118.0%

※公表数値は2012年11月修正

- 売上高: 米国・中国での買い控えの影響が一部あるも堅調に推移
- 営業利益: 増収効果および販管費抑制等により増益
- 営業外損益: 為替差益 8.1億円 (前年同期 為替差損 4.0億円)

➤ 為替の影響 売上 +27.1億円 営業利益 △9.4億円

※前年同期為替レート適用の場合:

前年同期比 売上高 106.0%、営業利益 118.4%

	2013年3月期	前年同期
1 USD	83.1円	79.1円
1 EUR	107.2円	109.0円

設備投資 89.4億円 減価償却費 79.4億円 研究開発費 121.1億円

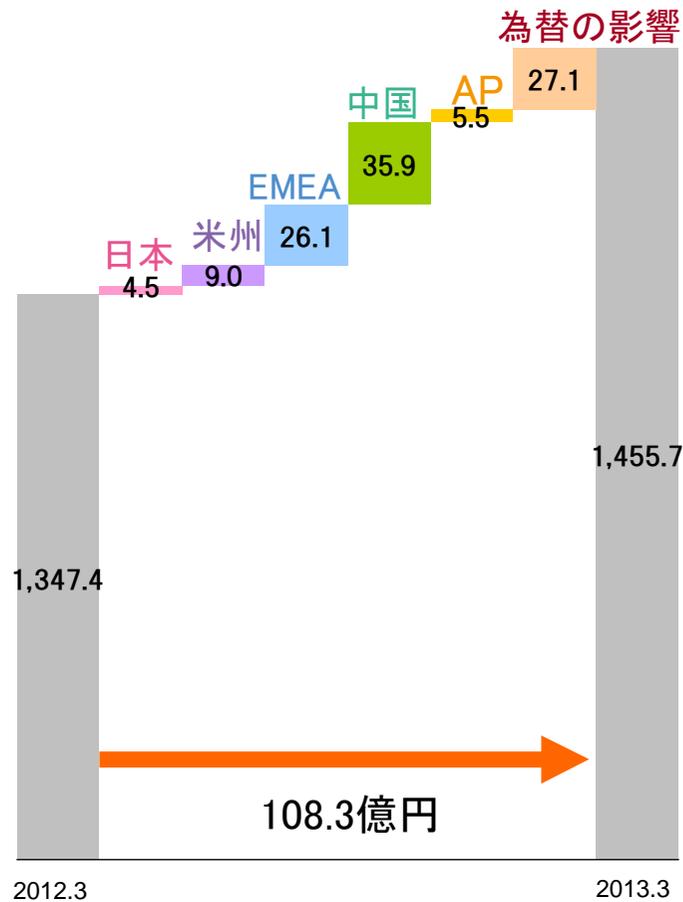
# 売上高・営業利益の増減要因



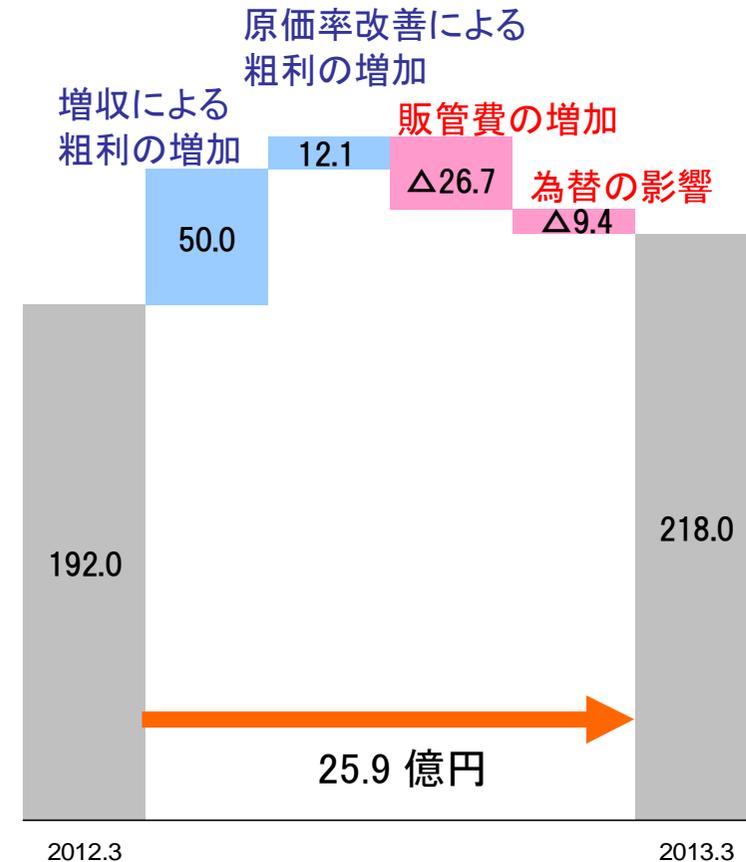
(単位: 億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



## 営業利益

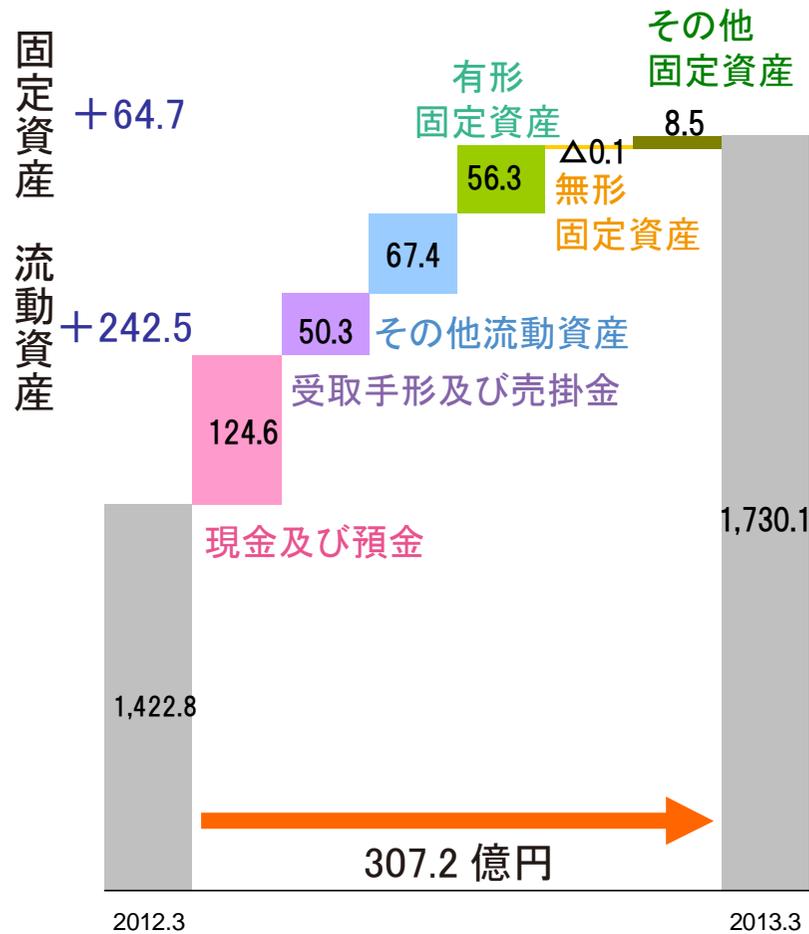


# 貸借対照表の増減要因

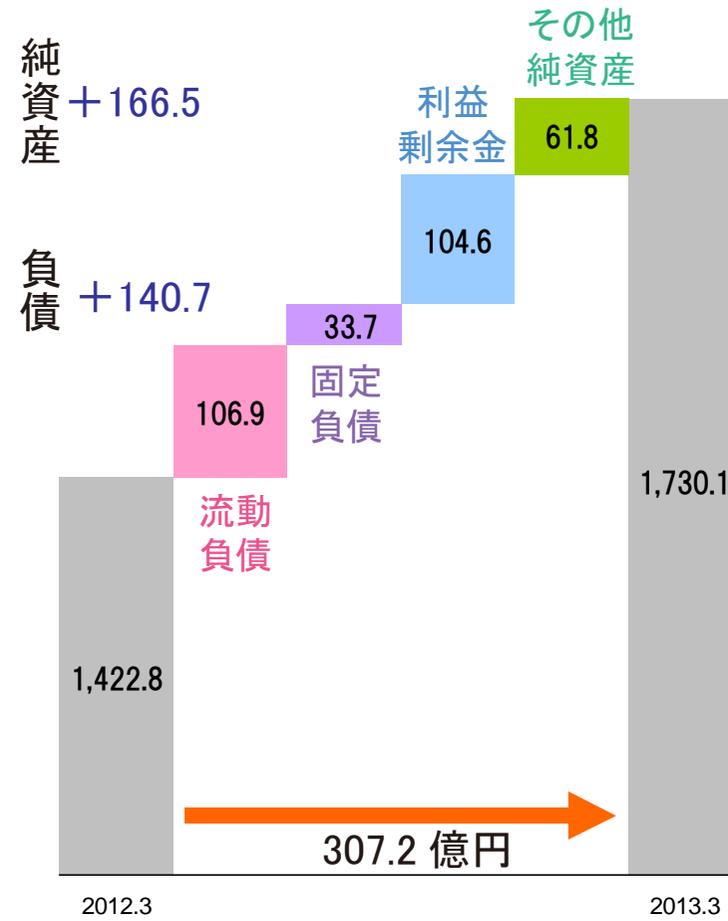


(単位:億円)

## 資産の部



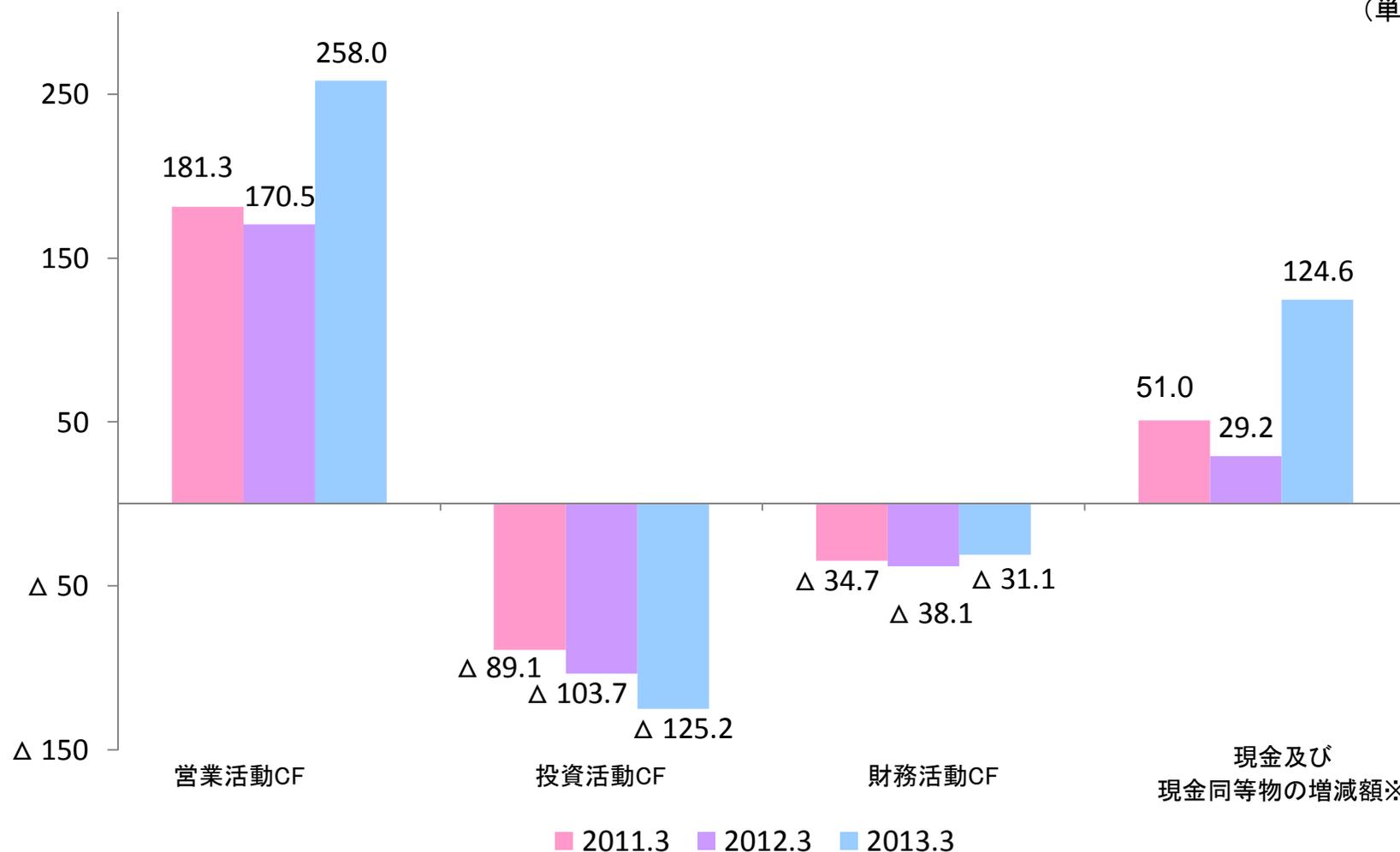
## 負債・純資産の部



# キャッシュフローの推移



(単位:億円)



※現金および現金同等物に係る換算差額も含まれております。

# トピックス (2013年3月期)



## アライアンス

- ロシュ社との当社ヘマトロジー製品に関するグローバルでの販売・サービス契約を更新
- シーメンス社との血液凝固関連製品に関するグローバルでの販売・サービス契約を更新

## 新製品

- ヘマトロジー分野のフラッグシップモデル「XNシリーズ」をグローバルで発売  
(中国、米国での認可取得完了)
- ヘマトロジー分野において新興国をメインターゲットとする「XPシリーズ」を発売
- 免疫検査分野において迅速測定が可能な新モデル「HISCL-5000」を日本で発売
- 胃がんへのOSNA法適応拡大に関して厚生労働省より認可取得



XNシリーズ



XPシリーズ



HISCL-5000

Sysmex Corporation

# トピックス (2013年3月期)



## 拠点整備

- 米州統括現地法人のオフィス拡張および移転
- タイの販売・サービス体制を強化(一部直販)
- モンゴル駐在員事務所を設置
- 機器生産能力の増強に向け、工場建設用地取得(兵庫県加古川市)



SAI 新オフィス  
(アメリカ・シカゴ)

## その他

- 日本証券アナリスト協会「個人投資家向け情報提供における優良企業」に選定
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」に選出
- 平成25年度文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)を受賞



# 分野別売上高



(単位:億円)

	2013年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
ヘマトロジー	908.1	62.4%	823.2	61.1%	110.3%
血液凝固	212.1	14.6%	176.4	13.1%	120.2%
免疫	20.2	1.4%	20.2	1.5%	100.2%
生化学	30.8	2.1%	34.9	2.6%	88.1%
尿	109.0	7.5%	107.9	8.0%	101.0%
IVDその他※1	139.0	9.5%	150.7	11.2%	92.2%
IVD事業	1,419.4	97.5%	1,313.6	97.5%	108.1%
ライフサイエンス事業	10.6	0.7%	8.5	0.6%	124.8%
その他事業※2	25.6	1.8%	25.3	1.9%	101.5%
売上高合計	1,455.7	100.0%	1,347.4	100.0%	108.0%

※1: POC、動物、ITなど  
 ※2: 科学計測、新事業など

# 所在地別売上高



## ● 所在地別売上高 (外部売上)

(単位: 億円)

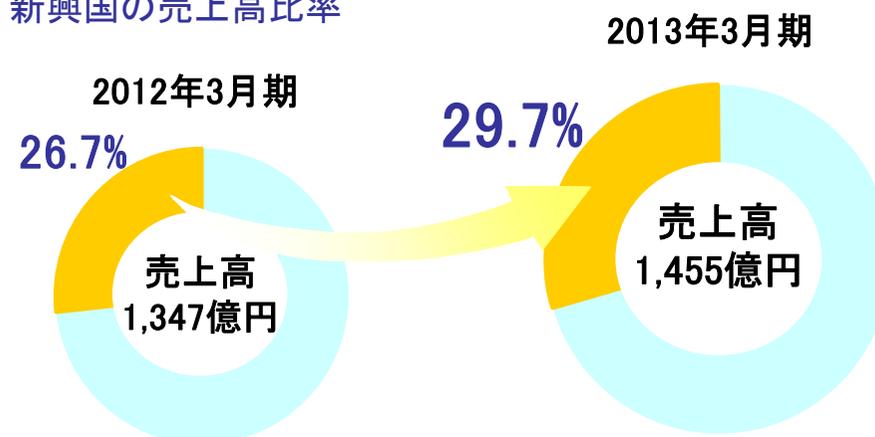
		2013年3月期		前年同期		伸長率	
			構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高		1,455.7	100%	1,347.4	100%	108.0%	-
所在地別	米州	297.0	20.4%	268.5	19.9%	110.6%	105.2%
	EMEA	394.3	27.1%	370.3	27.5%	106.5%	108.3%
	中国	244.2	16.8%	192.9	14.3%	126.6%	118.6%
	AP	90.4	6.2%	78.6	5.9%	114.9%	108.5%
	日本※	429.7	29.5%	436.9	32.4%	98.4%	-

※韓国、アイデックス社等含む

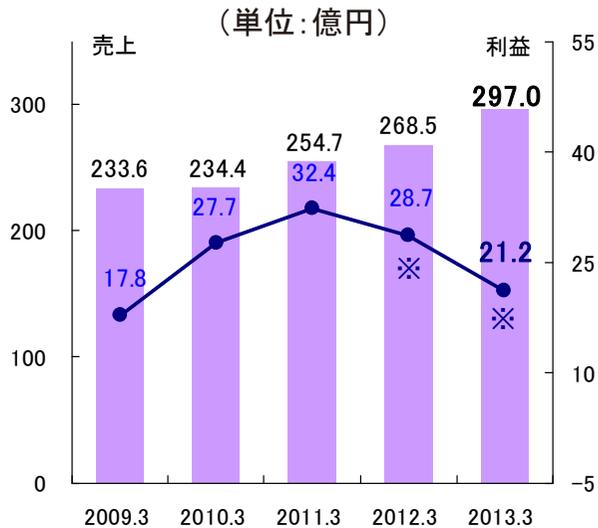
## ● 為替レート

	2013年3月期	前年同期
1USD	83.1円	79.1円
1EUR	107.2円	109.0円
1CNY	13.2円	12.4円
1SGD	66.9円	63.1円

## ■ 新興国の売上高比率



# 米州における取り組み(所在地別)



■ 売上高      ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

Copyright by Sysmex Corporation

(単位:億円)

	2013年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	297.0	268.5	110.6%
営業利益※	21.2	28.7	74.1%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 105.2%、営業利益 70.5%

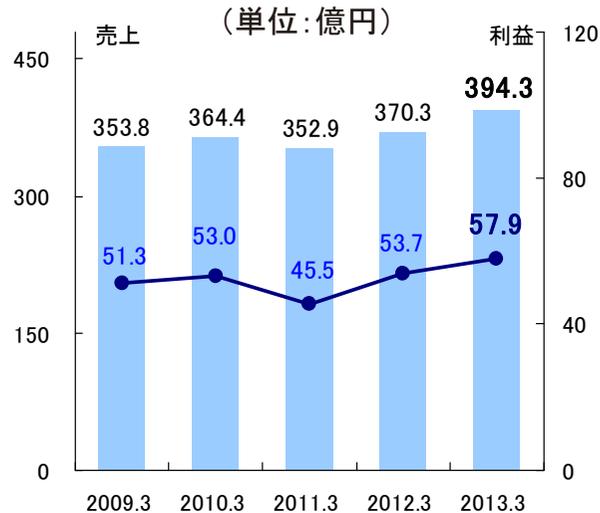
## ● 米国の機器買い控えが影響するも増収

➢ 米国: XNの認可手続き長期化および医療保険改革法の行方等が一部影響するも、XNの発売および試薬・サービス売上の伸長により売上が増加

➢ 中南米: ヘマトロジー5分類機器の伸長により売上が増加

## ● 販売・サービス体制強化、オフィス移転等の販管費増加に加え、グループ間取引価格の見直し等により営業利益は減少

# EMEA※における取り組み(所在地別)



	2013年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	394.3	370.3	106.5%
営業利益	57.9	53.7	107.8%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 108.3%、営業利益 109.6%

## ● 好調なXN販売に加え、新興国向け売上也伸長し増収

➢ 主要5カ国: 経済危機の影響があるも堅調に推移

- イタリア: 政府系病院予算遅延等の影響もあり減収

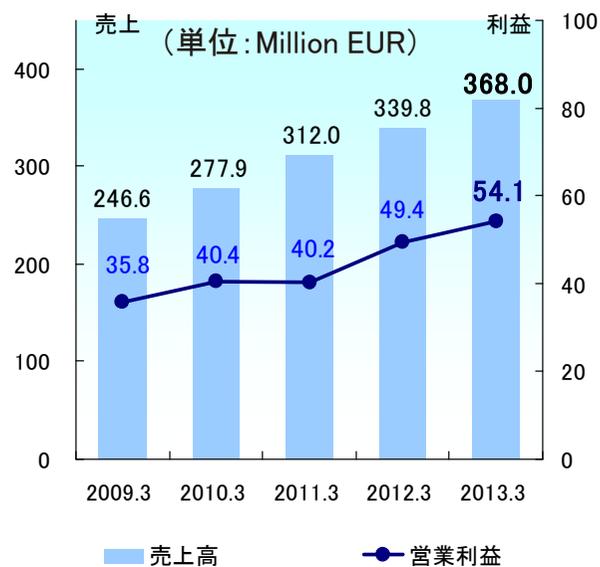
- フランス: XNを中心に販売が好調

- イギリス: 機器設置台数の増加により、試薬売上が増加

➢ その他欧州: ベネルクスにおけるXN販売好調等により増収

➢ 東欧・ロシア: ロシアは増収、東欧は減収

➢ 中東・アフリカ: サウジアラビア、南アフリカ等で政府系案件の獲得等により増収



## ● 原価率改善が、円高の影響や販管費の増加を補い増益

※欧州、中東、アフリカ地域

# 中国における取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2013年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	244.2	192.9	126.6%
営業利益※	23.8	23.6	100.6%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 118.6%、営業利益 94.3%



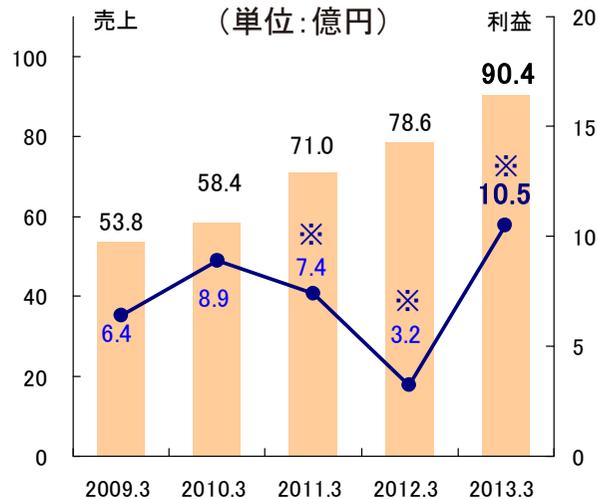
■ 売上高 ■ 営業利益  
※グループ間取引価格の見直し

## ● 販売停滞の影響を一部受けつつも、ヘマトロジー、凝固分野で増収を継続

- ヘマトロジー分野: 入札案件は一部で停滞するも、システム製品に加えXNの発売もあり増収
- 凝固分野: 凝固系に加え線溶系検査項目の需要拡大に伴い機器・試薬ともに増収
- 尿分野: 販売停滞の影響およびローカル企業の台頭も一部あり微増
- 生化学分野: 一部試薬の発売遅延の影響等により減収

## ● 二桁増収もグループ間取引価格の見直しにより営業利益は横ばい

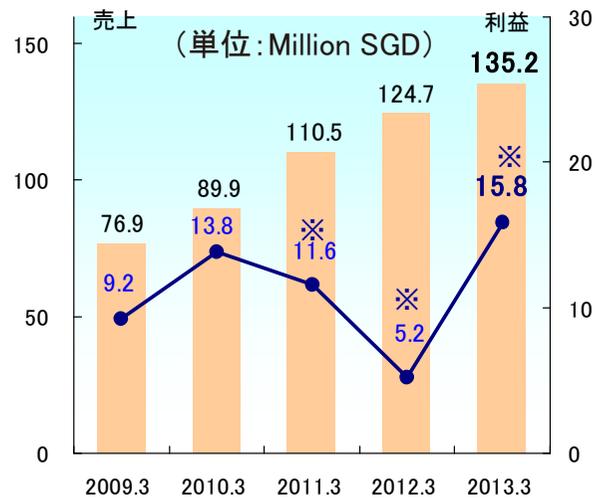
# APにおける取り組み(所在地別)



(単位: 億円)

	2013年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	90.4	78.6	114.9%
営業利益※	10.5	3.2	320.0%

■ 現地通貨ベース 前年同期比 売上高 108.5%、営業利益 302.0%



■ 売上高 ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

## ● 直販化の推進等により増収

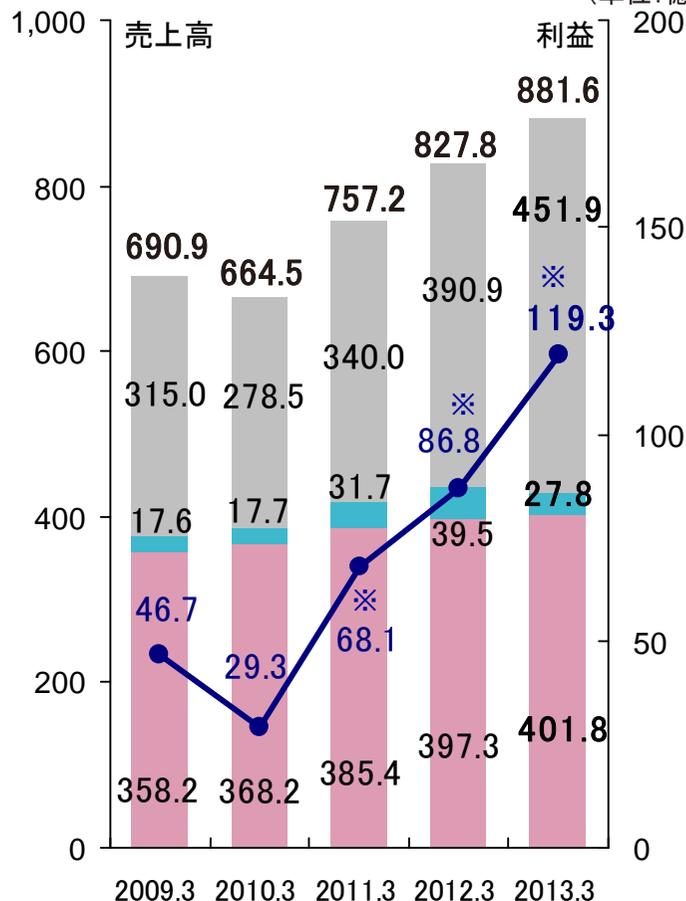
- 南アジア: インドの代理店契約更新の遅延が通期を通して影響し横ばい
- 東南アジア: フィリピン、タイの一部直販化(10月)による拡販進展により増収
- オセアニア: 入札案件が減少するもIT売上が好調に推移し増収

## ● 原価率改善に加え、グループ間取引価格の見直し等により営業利益は大幅に増加

# 日本における取り組み(所在地別)



＜韓国、アイデックス社等含む＞ (単位:億円)



■ 内部売上高: 関係会社への輸出等  
 ■ 外部売上高: 韓国・アイデックス社等  
 ■ 外部売上高: 日本  
 ● 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

(単位:億円)

	2013年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	881.6	827.8	106.5%
外部	429.7	436.9	98.4%
日本	401.8	397.3	101.1%
韓国・アイデックス社等	27.8	39.5 <sup>※1</sup>	70.4%
内部	451.9	390.9	115.6%
営業利益 <sup>※</sup>	119.3	86.8	137.5%

- 日本: ソリューション提案等によりヘマトロジー分野は順調に推移するも横ばい
- 韓国・アイデックス等:
  - 韓国は微増、アイデックスは減少
- ※1: 台湾は商流変更により昨年度3QからAP所在地に含む
- 外部売上が減少するも、グループ関係会社(海外)向けの内部売上の増加および販管費抑制により大幅増益

# 予想配当額 11期連続の増配(案)



- 年初予想(期末 17円)に対し 6円の増配(創立45周年記念配当4円含む)

	中間	期末	年間	配当性向
2013年3月期 (案)	17 円	23円 <small>※第46回定時株主総会 に付議する予定</small>	40 円	29.1 %
2012年3月期	15 円	19 円	34 円	29.1 %

## Chapter 2

---

# 前中期経営計画の振り返り(2011年5月公表)

# 前中計の振り返り(2011年5月公表)



## 2012年3月期(1年目)

- 円高の影響により売上高、営業利益ともに未達(売上高98%、営業利益94%)
- 為替の影響を除くと、達成率は売上高101%、営業利益103%

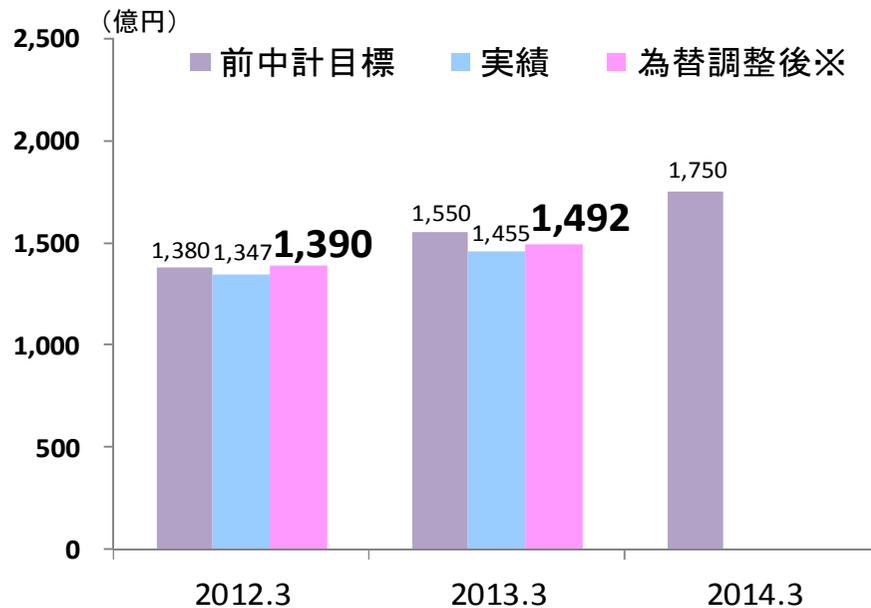
## 2013年3月期(2年目)

- 円高の影響、XNの認可手続き長期化の影響、中国での販売停滞の影響等により、売上高、営業利益ともに未達(売上高94%、営業利益94%)
- 為替の影響を除くと、達成率は売上高96%、営業利益101%

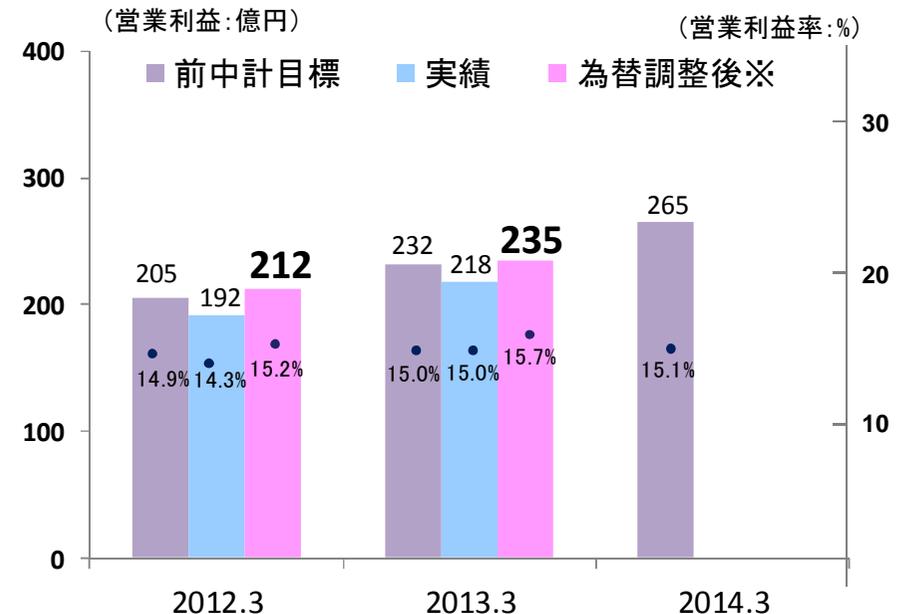
### 為替レート

	前中計 レート	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績
1USD	85.0円	79.1円	83.1円
1EUR	115.0円	109.0円	107.2円

### 売上高



### 営業利益



※前中計レートで換算

# 前中計の振り返り(2011年5月公表)



## 1. アジアをはじめとした新興国での成長の加速

- 新興国ニーズに適合した「XS-500i」、「XPシリーズ」を発売
- 販売・サポートネットワークの充実(フィリピン、台湾、タイ、ロシア)

## 2. ヘマトロジーにおける絶対的なNo.1ポジションの確立と収益力の向上

- グローバルでの「XNシリーズ」発売
- 上位市場におけるソリューション提案の強化

## 3. ノンヘマトロジー分野における成長の加速と次の成長に向けた基盤づくり

- ノンヘマトロジー分野の伸び悩み
- 免疫における試薬開発項目の遅れ
- 学術サポート体制の再構築

## 4. ライフサイエンスにおける事業化の促進

- OSNAの適用がん種拡大および販売地域拡大の遅れ

## Chapter 3

---

# 中期経営計画(2014年3月期～2016年3月期)

# 当社を取り巻く環境



## マクロ環境

### 世界経済

- ▶ 世界経済は回復基調
  - ・先進国経済の回復と新興国の高成長持続

### 為替動向

- ▶ 円高基調からの転換
  - ・日本企業の輸出競争力回復
  - ・円安による収益拡大の一方で燃料費、輸入材料費の高騰

### 構造変化

- ▶ グローバル化への対応と高付加価値化
  - ・FTA/EPAの拡大による資金、設備、人材、サービスの流動化
  - ・ICTの変化による情報伝達スピードの加速とボーダレス化

## ヘルスケア・IVD

### 先進国：医療リフォームの進展と技術の高度化

- ▶ 医療費削減の加速
- ▶ 再生医療や個別化医療の進展

### 新興国：経済成長に伴う需要の拡大

- ▶ 医療インフラの整備と医療の高度化

### 技術革新

- ▶ 遺伝子/分子診断技術の進歩

### 競争環境

- ▶ ヘルスケア分野における異業種からの参入
- ▶ IVD 業界の再編  
(DanaherによるBeckman Coulter、Irisの買収等)

ヘルスケア・IVD市場は高成長の期待

## 長期ビジョン

「A Unique & Global Healthcare Testing Company」

### 長期経営目標

#### ■ポジショニング

- ヘマトロジーにおける絶対的なグローバルNo.1
- アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー
- 分子診断領域(セラノスティクス※)におけるリーディングカンパニー

※セラノスティクス: 治療(Therapy)と診断(Diagnostics)の合成語で、個別化医療を実現するための臨床的価値の高い検査

#### ■経営数値目標

- ・売上高: 5,000億円以上

# 基本戦略



リード・ヘマトロジー  
(絶対的なグローバル  
ヘマトロジーNo. 1)

- 絶対的なグローバルNo.1ポジションを確立
- フロントランナーとして、新たな価値やユーザビリティの高い製品を提供

リード・エマージング  
マーケット  
(新興国フォーカス)

- IVD総合サプライヤーとしての独自性を確立
- 新興国ニーズに適した製品・サービスの投入と販売・サービスネットワークを強化し、検査の発展をリード
- アジアにおけるノンヘマトロジービジネスを強化

ライフサイエンス・  
イノベーション

- がんを中心とした分子診断領域において、独自の診断技術を創出
- 個別化医療や治療と診断の融合により新たな価値を創造

# 中期経営目標（2016年3月期）



成長性	売上高	2,200億円
	CAGR※ (2013年3月期-2016年3月期)	14.8%
収益性	営業利益	400億円
	営業利益率	18.2%
	CAGR (2013年3月期-2016年3月期)	22.4%
効率性	ROE	15.5%
	営業キャッシュフロー	350億円
	フリーキャッシュフロー	200億円

想定レート

通貨	レート
1USD	95.0円
1EUR	125.0円
1CNY	15.0円
1SGD	76.0円

※年平均成長率

# 組織体制構造改革



## ビジネスユニット体制による事業構造の変革推進

- **事業視点での組織、プロセスの再編**
  - ・HU ビジネスユニット(ヘマトロジー分野、尿検査分野)
  - ・ICH ビジネスユニット(免疫・生化学、血液凝固検査分野)
  - ・LS ビジネスユニット(ライフサイエンス分野)
- **戦略立案・商品開発・市場導入を一貫マネジメント**
- **事業毎の専門性を強化し、販売・サービス活動を加速**



- ・各検査分野に関する専門性の強化と一貫したマネジメントを実現
- ・意思決定と実行スピードを向上

# 重要な課題

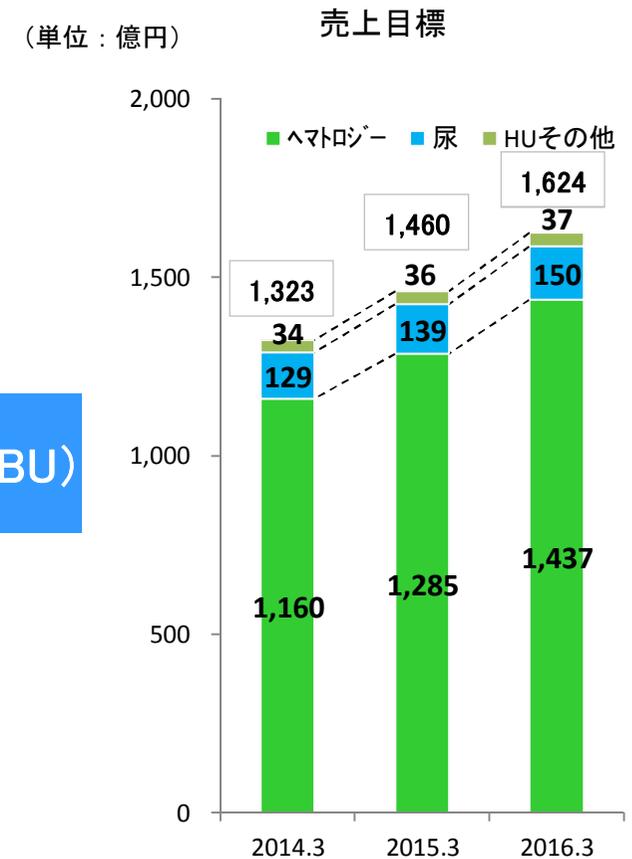


## (1) ヘマトロジーにおける絶対的なNo. 1ポジションの強化と収益性の向上 (HU-BU)

- 「XNシリーズ」のグローバル推進の本格化
  - ▶ 販売機種(XN)の集約による効率化の推進  
(生産効率・物流効率・販売サービス効率等)
  - ▶ 感染症への対応強化(マラリア、デング熱等)
- 新興国市場における「XPシリーズ」の販売強化
  - ▶ 未開拓マーケットの需要喚起

## (2) 尿分野における成長持続とポートフォリオ強化 (HU-BU)

- 「UX-2000」の市場導入加速
  - ▶ 尿定性検査と尿沈渣検査の統合による効率化の向上
- アライアンスを活用したグローバルでの販売強化

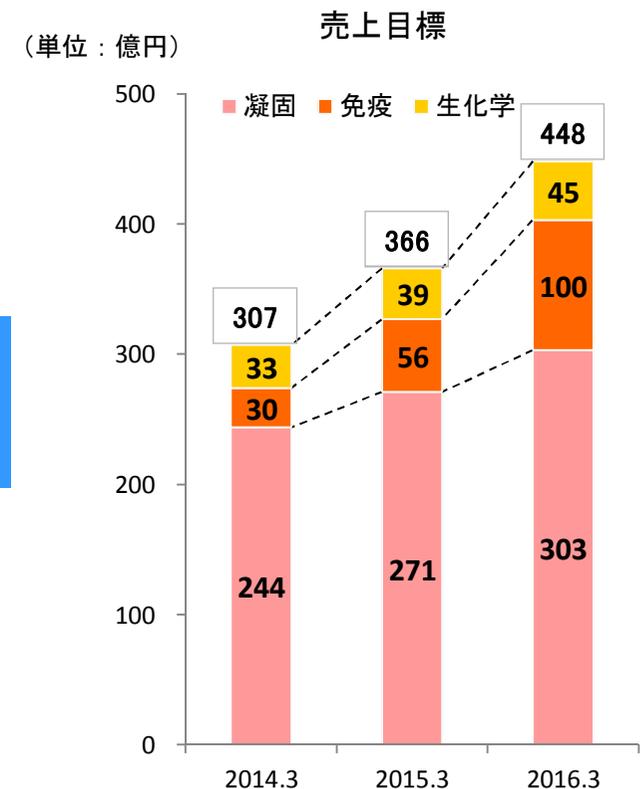


## (3) スピード豊かなアジア展開による免疫分野における高成長の実現 (ICH-BU)

- 「HISCLシリーズ」の市場導入本格化
  - ▶ 学術サポートの強化など専門性を活用した販売・サービス活動による「HISCLシリーズ」の販売拡大
  - ▶ 特徴のある検査項目(試薬)の早期市場導入
  - ▶ 中国、APにおける免疫ビジネスの本格化

## (4) 凝固分野における持続的成長を実現する ポートフォリオの強化 (ICH-BU)

- 「CSシリーズ」の市場導入加速
  - ▶ 新興国の市場成長に伴う高成長の継続
  - ▶ 米国での「CSシリーズ」販売拡大
  - ▶ アライアンスを活用したプレゼンスの向上

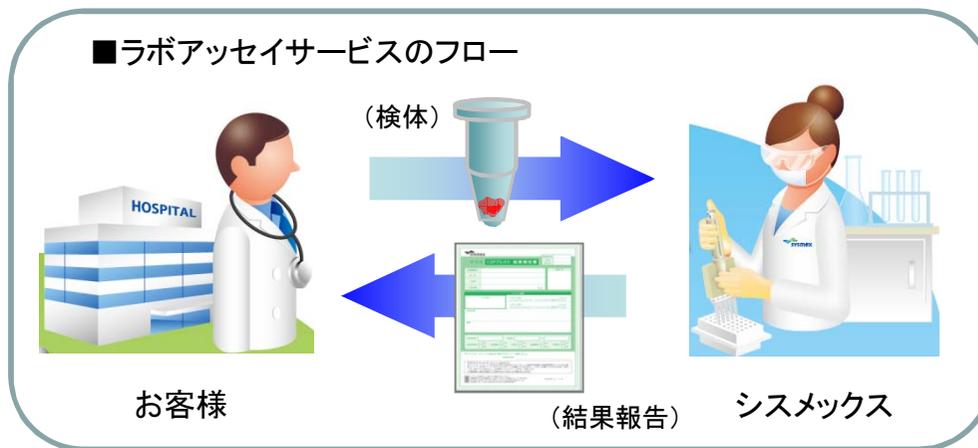
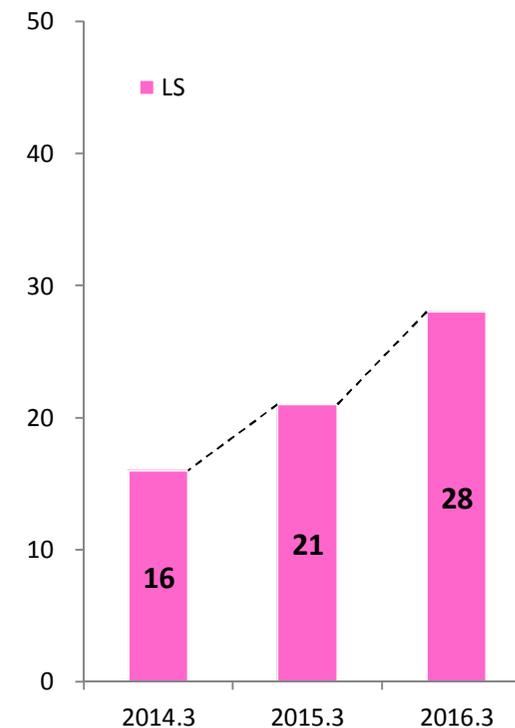


## (5) OSNAビジネス、ラボアッセイ※ ビジネスの事業化の加速 (LS-BU)

- **グローバルでのOSNAビジネスの拡大**
  - ▶ 海外でのOSNA販売地域の拡大
  - ▶ がん種適用拡大
- **ラボアッセイ事業の早期確立**
  - ▶ 受託検査項目の探索、顧客価値の検証および早期事業化



(単位：億円) 売上目標



※検体分析の受託サービス

- (6) 個別化医療や治療と診断の融合に貢献する研究開発のグローバルでの活動強化
- (7) グローバルSCM改革による効率性・収益性の向上と生産工場の拡充による安定供給体制の強化
- (8) 変化の激しい規制に柔軟に対応できるグローバルでの薬事対応体制の強化
- (9) 事業構造変革を加速させる人材の獲得・育成
- (10) IFRS適用に向けた準備とBPM※活用による業務プロセスの連動と可視化の実現

※BPM: Business Process Management

## Chapter 4

---

# 2014年3月期 業績予想

# 連結 通期業績予想



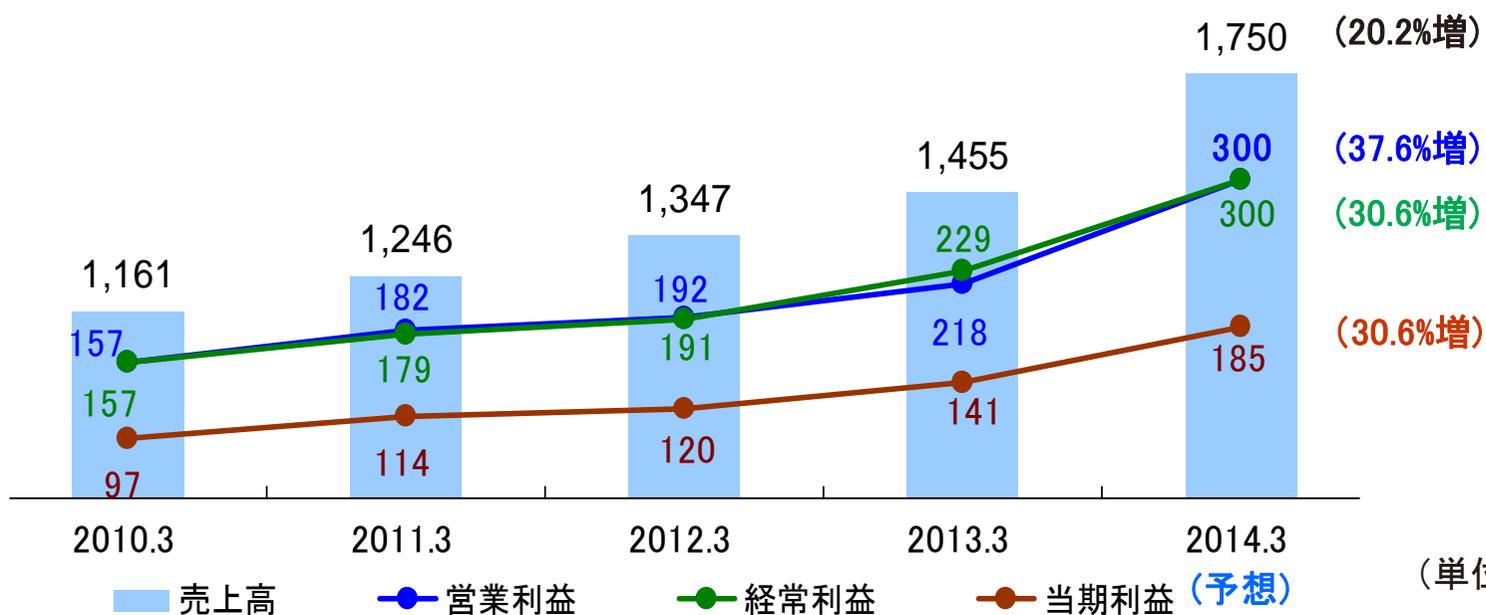
## 2014年3月期 連結業績予想

● 売上高：1,750 億円 ● 営業利益：300億円 ● 経常利益：300 億円 ● 当期純利益：185億円  
 ● 営業利益率：17.1% ● 経常利益率：17.1% ● 当期純利益率：10.6%

### 投資計画

● 設備投資：120 億円 ● 減価償却費：85億円 ● 研究開発費：150 億円

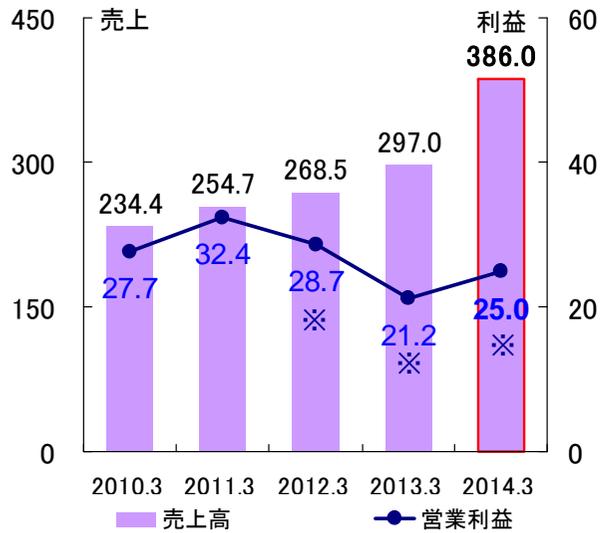
想定為替レート： 1USD = ¥95.0 1EUR = ¥125.0  
 (2013年3月期実績： 1USD = ¥83.1 1EUR = ¥107.2)



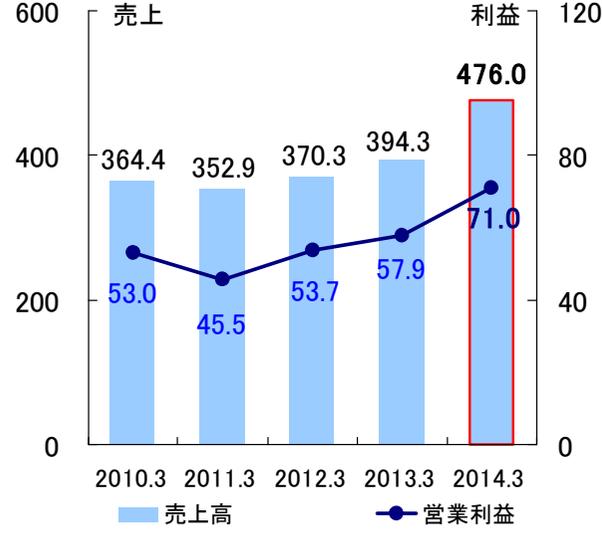
# 所在地別 通期業績予想



米州

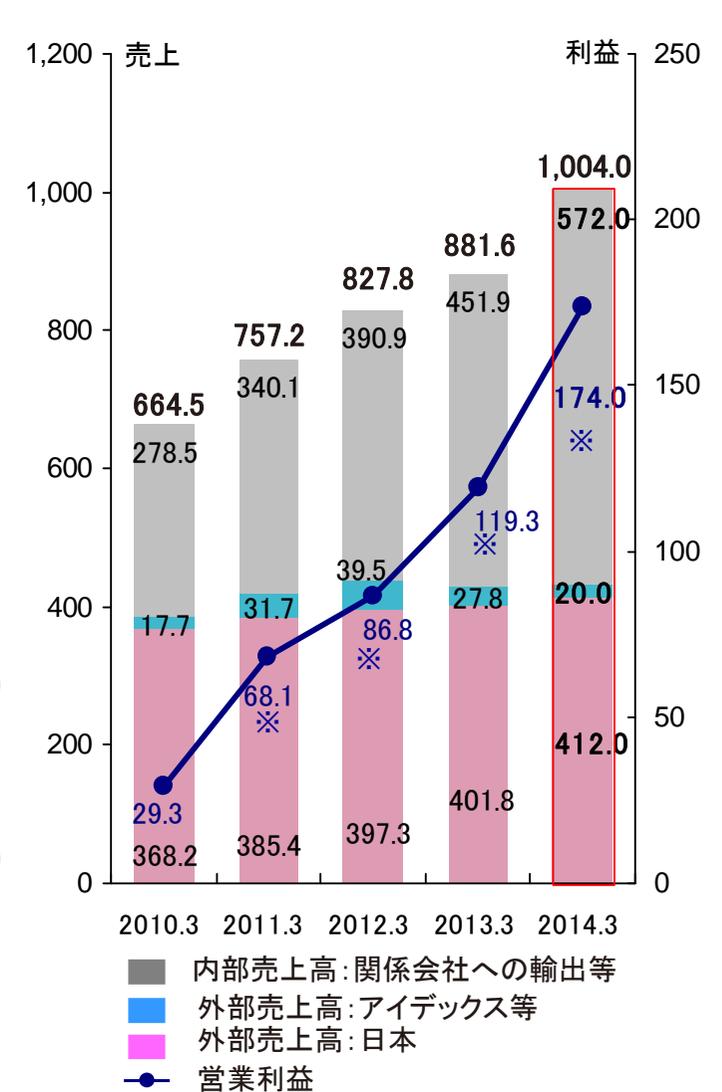


EMEA



日本

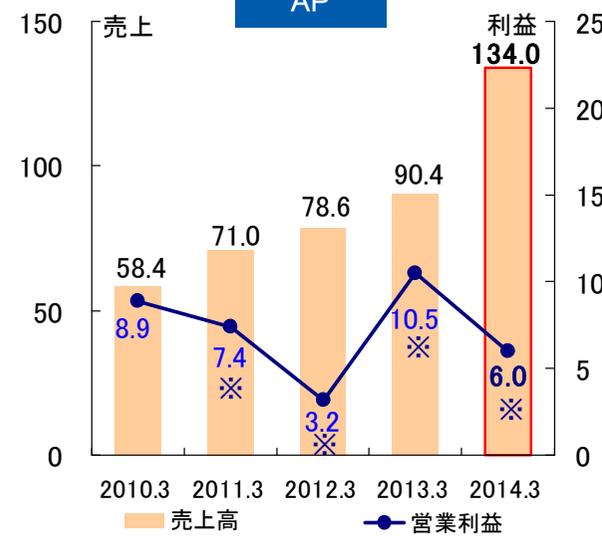
(単位: 億円)



中国



AP



※グループ間取引価格の見直し

# 配当政策と配当予想 12期連続の増配(予想)



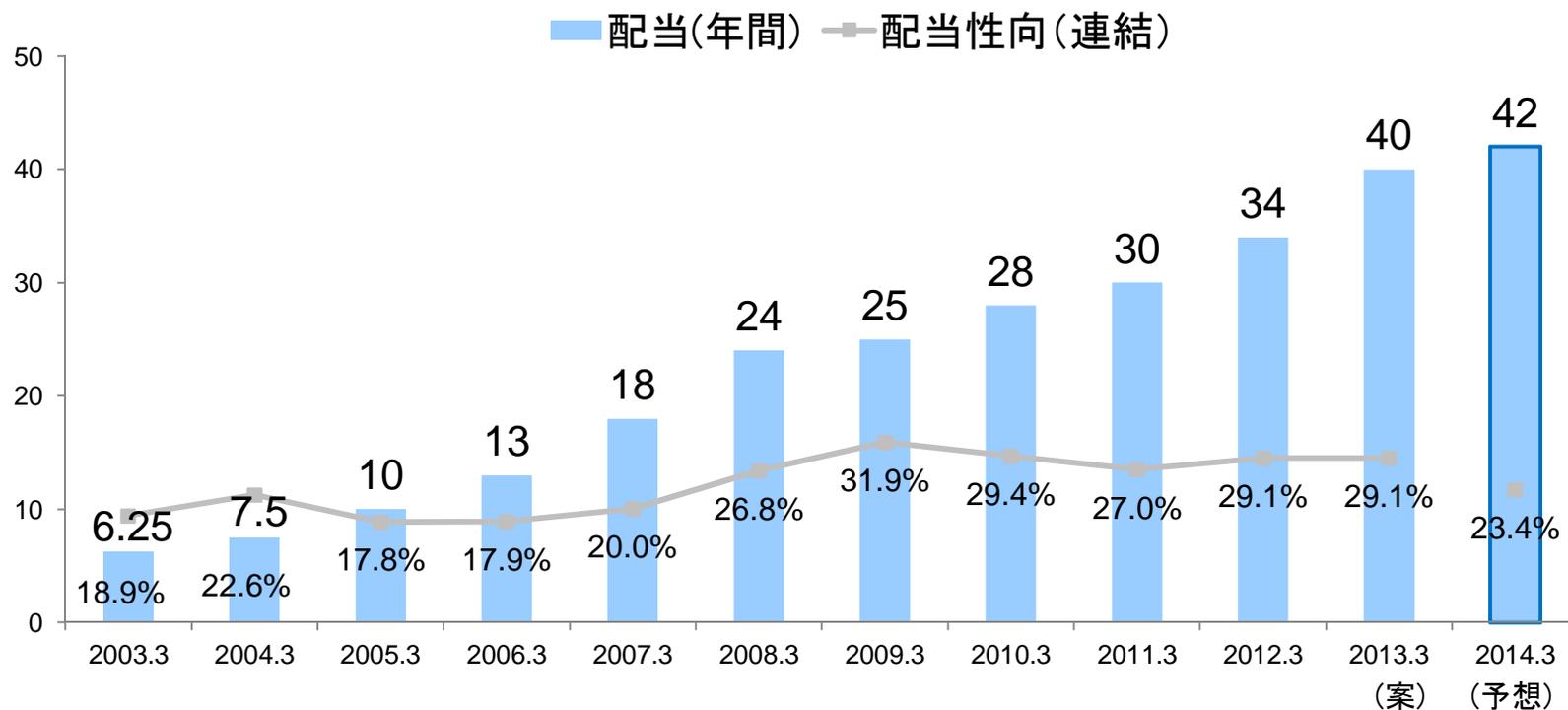
シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目処に配当を行ってまいります。

株式分割後ベースに換算した場合の配当金

※2005年11月18日付け: 株式分割(1:2)

※2011年4月1日付け: 株式分割(1:2)

(円)



補足資料

---

中期経営目標

# 中期経営目標



(単位：億円)

## ● 連結損益計算書

		2014年3月期	2015年3月期		2016年3月期	
				前年比		前年比
売上高	日本	412	434	105.3%	465	107.1%
	海外	1,338	1,516	113.3%	1,735	114.4%
		1,750	1,950	111.4%	2,200	112.8%
営業利益		300	340	113.3%	400	117.6%
	営業利益率	17.1%	17.4%	-	18.2%	-
経常利益		300	340	113.3%	400	117.6%
当期純利益		185	210	113.5%	248	118.1%

## ● 所在地別売上高・営業利益

		2014年3月期	2015年3月期		2016年3月期	
				前年比		前年比
日本	外部売上高	432	458	106.0%	491	107.2%
	内部売上高	572	646	112.9%	751	116.3%
	売上高	1,004	1,104	109.9%	1,242	112.5%
	営業利益	174	183	105.1%	215	117.5%
	営業利益率	17.3%	16.6%	-	17.3%	-
米州	外部売上高	386	437	113.2%	503	115.1%
	営業利益	25	30	120.0%	37	123.3%
	営業利益率	6.5%	6.9%	-	7.4%	-
EMEA	外部売上高	476	502	105.5%	528	105.2%
	営業利益	71	78	109.9%	86	110.3%
	営業利益率	14.7%	15.4%	-	16.0%	-
中国	外部売上高	322	401	124.5%	501	124.9%
	営業利益	30	39	130.0%	47	120.5%
	営業利益率	9.3%	9.7%	-	9.4%	-
AP	外部売上高	134	152	113.4%	177	116.4%
	営業利益	6	9	150.0%	13	144.4%
	営業利益率	4.4%	5.8%	-	7.2%	-

# 中期経営目標



(単位：億円)

## ● 事業別売上高

	2014年3月期		2015年3月期			2016年3月期		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比	売上高	構成比	前年比
HU-BU	1,323	75.6%	1,460	74.9%	110.4%	1,624	73.8%	111.2%
ヘマトロジー	1,160	66.3%	1,285	65.9%	110.8%	1,437	65.3%	111.8%
尿	129	7.4%	139	7.1%	107.8%	150	6.8%	107.9%
その他※1	34	1.9%	36	1.8%	105.9%	37	1.7%	102.8%
ICH-BU	307	17.5%	366	18.8%	119.2%	448	20.4%	122.4%
凝固	244	13.9%	271	13.9%	111.1%	303	13.8%	111.8%
免疫	30	1.7%	56	2.9%	186.7%	100	4.5%	178.6%
生化学	33	1.9%	39	2.0%	118.2%	45	2.0%	115.4%
その他IVD※2	74	4.2%	69	3.5%	93.2%	63	2.9%	91.3%
IVD 計	1,704	97.4%	1,895	97.2%	111.2%	2,135	97.0%	112.7%
LS-BU	16	0.9%	21	1.1%	131.3%	28	1.3%	133.3%
新事業・他	30	1.7%	34	1.7%	113.3%	37	1.7%	108.8%
売上高 計	1,750	100.0%	1,950	100.0%	111.4%	2,200	100.0%	112.8%

※1 Laboratory Information Systems (検査情報システム)等

※2 仕入れ商品等

# 中期経営目標



## ● 投資計画

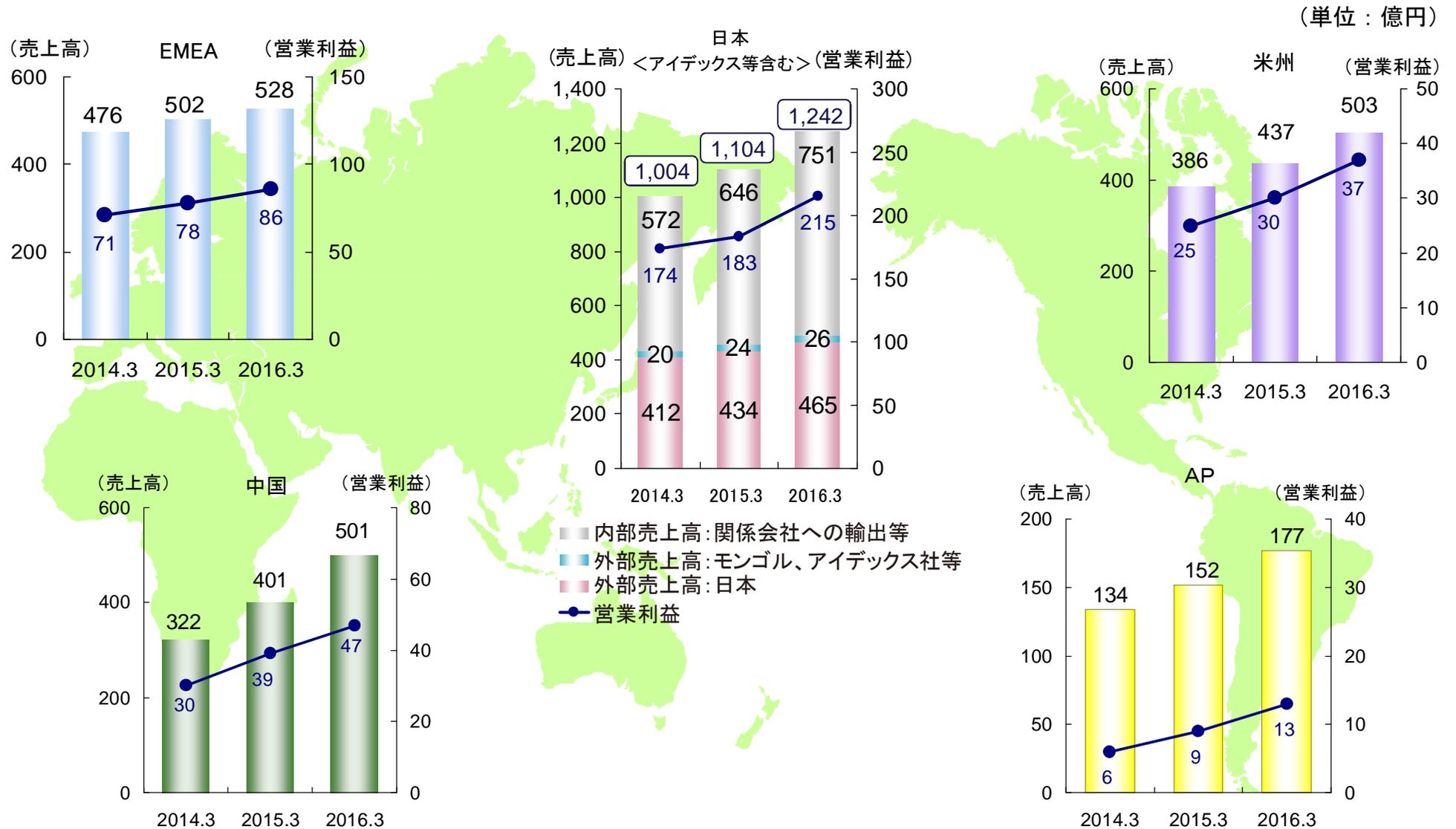
(単位：億円)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
設備投資	120	100	120
減価償却費	85	100	100
研究開発費	150	175	200

## ● 為替レート

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
1USD	95.0円		
1EUR	125.0円		
1CNY	15.0円		
1SGD	76.0円		

# 中期経営目標 —所在地別売上高・営業利益—



Copyright by Sysmex Corporation

Sysmex Corporation

# We Believe the Possibilities.

## シスメックス株式会社

<お問合せ先>

シスメックス株式会社 IR・広報部

・電話: 078-265-0500

・メールアドレス: [info@sysmex.co.jp](mailto:info@sysmex.co.jp)

・ URL: [www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)